

「

BELIEVE

2011  
新年号  
VOL.35

」

● 海外災害派遣報告  
**パキスタン洪水被災者救援事業**

● シリーズ **情熱の白衣**・看護師レポート



白銀と兎  
秦 美紀子

制作年／不詳  
素材／アクリル、キャンバス

昔、旅行で雪山を訪れた女の子が、  
そこで見かけた白兎の可愛さに感  
わされ、ついつい後を追いつつ凍死し  
た出来事がありました。  
図書館で雪山の絵本を見つけ、心  
を打った雪山を私が描く時、女の  
子の心を感わせた「魔性の白い世  
界～木々の枝は複雑に広く白く、  
空はどこまでも高く澄む白銀の世  
界～」を描いてみたいと思いました。  
そして、私はそう思いながらこの一  
匹の白兎を描きました。

秦さんの作品はこちらのウェブサイト  
でもご覧いただけます。

↓  
エイブルアート・カンパニー  
<http://ableartcom.jp>  
[Art Works アーティストと作品]  
のページから。

(大阪赤十字病院は作品掲載を通じて  
バリアフリーを推進しています)

**大阪赤十字病院の基本理念**

わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づき  
すべての人の尊厳をまもり  
心のかよう高度の医療をめざします

**患者さまの権利**

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します



▲洪水によりアクセスが途絶え、生活基盤を失った被災者たち

## 海外災害派遣報告

# パキスタン洪水被災者救援事業

パキスタン・イスラム共和国(以下、パキスタン)では、2010年7月下旬からモンスーンによる影響で集中豪雨が続き、洪水により国民の10分の1に当たる約2,100万人が被災しました。日本赤十字社(日赤)では各国赤十字社と共同で緊急支援活動を行いました。被災地での洪水救援事業に参加した当院3名の職員から、現地活動を報告いたします。



# 1

## 診療情報管理課兼 国際医療救援部 無津呂昌代

パキスタンの洪水に対し、パキ

スタン赤新月社は直ちに各地で被害調査を行うとともに、巡回診療の提供や、食糧・生活用品・テントなど救援物資の配布を行いました。また、それと並行して国際赤十字も救援活動を支援するため緊急救援要請を発表しました。

被害状況の調査を行う「ワールド調査調整チーム」を召集し、その被害状況の調査結果に基づき、日赤からは1人目となる河合結子看護師がノルウェー赤十字社の医療チームの一員として8月19日から派遣されま

した。

その1週間後、日赤からは喜田たろう副チームリーダー、私を含む計7人の要員(副チームリーダー・医師・助産師・看護師・薬剤師・事務)が現地に派遣され、フランス赤十字社の医療チームのメンバーとして活動を開始しました。

今回の派遣の特徴は、日赤としては初の試みとなる他国の医療チームに参加しての活動となったことです。つまり、救援用資機材を提供し、フランス赤十字社(チームリーダー・医師・看護師・水衛生専門要員・事務の計6名)が

主となる医療チームに日赤の要員7名と、オーストラリア赤十字社の要員2名が参加した活動となりました。よって、今回の私の業務は連絡調整要員として、首都イスラマバードに留まり、フランス赤十字社、オーストラリア赤十字社の要員の後方支援も行う必要があったので、他国の要員との関わりの中で日赤要員との意識の違いや文化の違いを知ることができました。

到着翌日には、イスラマバードから車で8時間程の距離にあるパンジャブ州ムルタンが活動場所として定められ、以降、順番に空路や陸路でムルタンへ向かう他要員の移動手段の手配や調整、現地までの宿泊の手配、IT機器の準備や、現地携帯SIMカードの手配や両替、日赤がレンタルする車の手配調整を行うなど、現地要員が活動するのに必要な支援を行いました。その一方で、われわれ7名より遅れて入ってきたフランス赤十字社、オーストラリア赤十字社の要員の出迎え、国際赤十字・赤新月社連盟への登録・セキュリティブリーフィング(活動場所やパキスタン国内の安全状況説明)の手配、フランス赤十字社の資機材の運搬に係る調整

業務・彼らのムルタンまでの移動手段の手配や調整、現地までの宿泊の手配などを順次行っていました。

私の派遣中の2週間は、さまざまな事情によりムルタンでの活動を断念し、要員がさらに南にあるシンド州の活動場所の調査に出かける直前の時期でありましたが、続く2班が、メハーという所を拠点に巡回診療、そして既存病院の母子保健強化に取り組みっており、3班がその活動を12月

# 2

## 12A病棟看護師兼 国際医療救援部 河合結子

私は8月19日~9月15日まで

の約4週間、ノルウェー赤十字社の巡回診療チームの一員として参加しました。避難民キャンプや学校を巡回し、毎日200人程の患者さんの治療にあたりました。疾患の多くは、下痢や脱水、呼吸器・皮膚感染症で、私は受付で患者さんの観察をしたり、医師の診療補助、創傷処置、服薬指導などを行いました。また妊産婦さんへの授乳指導や、乳幼児

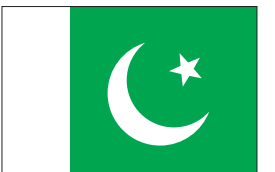
上旬まで引き継ぎました。

今回、私自身は被災地を訪れることはできませんでしたが、避難民キャンプに暮らす被災地の方々の暮らしが一日でも早く元に戻るよう祈っております。



健診の補助なども行いました。

活動中、気温は40度を超える猛暑で、断食などの影響も重なり被災者は過酷な環境を強いられました。中にはかなり衰弱した子どもがおり、救急車やわれわれの車両で近くの病院に搬送しました。さらに衛生教育が必要とされ、現地で知り合った微生物学の医師から「パキスタンでは、緑茶で手洗いと下痢の罹患率が下がるといいう研究結果が



## ハイチ共和国 大地震被災者支援事業

2010年8月11日～9月16日 ポルトープランス

国際医療救援部  
リテルスポーン キンイチ



▲ポルトープランスにある国際赤十字連盟のベースキャンプ

2010年1月12日マグニチュード7.2の大地震がハイチを襲い、首都ポルトープランスだけで20万人を超える死亡者、100万人以上の避難民という膨大な被害をもたらしました。

日本赤十字社は地震直後から医療チームを現地に派遣し、1月24日より7月14日まで首都ポルトープランスと地震の震源地であるレオガン市の2カ所において診察、巡回診療やワクチンキャンペーンなどの活動を行い、6カ月間で職員66人が派遣され、日赤として史上最大規模の緊急支援事業となりました。

夏頃に国際赤十字は緊急支援を終了し、長期にわたる復興支援に取りかかることになりました。この復興支援事業において、日赤はレオガン市で国際赤十字・赤新月社連盟(以下:連盟)が実施する給水衛生と保健医療の合同事業を資金面そして人材面で支援することとなりました。

私が派遣された8月から9月にかけての時期は、緊急支援から復興支援に移り変わる時期であり、この過程に伴う事務管理作業が今回の活動内容となりました。日赤からは事務



▲ポルトープランスの町中の様子(2010年9月半ば頃)

管理要員2人が派遣され、首都ポルトープランスにある赤十字連盟のベースキャンプを拠点に活動していました。

日赤が雇っていた現地スタッフが連盟のもとで働き続けるための諸手続き、日赤の車両を連盟に引き渡すための手続き、医療資機材の管理や医薬品の寄付の手続きなど緊急救援を終了させるための諸手続きの実施のほか、日赤本社との連絡調整、事業費の管理や情報収集などの活動に携わっていました。

1月に続いてこれで2回目のハイチ派遣となりました。半年以上が経過したとはいえ、ポルトープランスの町中には地震で家をなくした避難民のキャンプはいまだに目立ち、瓦礫が除去されていない地域も多くあり、政治基盤の弱いハイチの再建の難しさを痛感する場面が多くありました。

11月から発生しているコレラはもうひとつの大きなハードルとなりそうですが、ハイチの一日も早い立ち上がりを心より祈っています。

ある」とアイデアをもらい、住民の前で緑茶を用いた手洗いのデモンストレーションを行い、みな興味深々に聞いてくれました。緑茶の抗菌作用は日本でも以前から言われており、パキスタンは紅茶(チャイ)が一般的ではありますが、お茶の文化ということで共通



▲地域住民に対し、緑茶を使った手洗いの教育を行う河合看護師

点を感じたりもしました。活動の鍵となる人材に関しては、女性スタッフが少なく、毎日ぎりぎりの人数で行っていました。そのためか、チームの結束力は高まりました。時折、患者さんから「食べ物欲しい」と言われ、避難民たちに十分な食糧と飲料水が行き届いていない状況を目の当たりにし、救援活動における調整の難しさを痛感しました。活動地域では洪水被害も治まりつつあり、今後は円滑な復興支援が進み、人々が早く元通りの生活に戻れることを願っています。現地での治安の悪化はなく、体調も崩すことなく活動ができて幸いでした。また多くの人との出会い、新たな活動経験ができ、濃密な時間を過ごすことができました。

洪水災害に対する救援活動は、地震などとは異なり被災地の医療施設の復旧も早いため、被災者の移動に合わせて、医療ニーズを見極める必要があります。今回の活動では、被害の進行や避難民の動きに合わせて、インダス川の主流から下流へと移動しながら活動を続けることになりました。

われわれは、パキスタン赤新月社を通じて、現地の医師、看護師らと医療機関や避難民キャンプでの診療活動を行いました。さらにスウェーデン、スペイン、ベネルクス、ドイツ、デンマークの各国赤十字社も、給水・衛生、救援物資配布、こころのケアなどの継続的な支援活動を行っていました。今回、日赤要員のチームリー

ダー、合同派遣チーム全体の副チームリーダーとして、フランス赤十字社と日赤要員との橋渡し、国際赤十字や他の医療チームを含む関係団体との連絡調整、危機管理、メディア対応などを担当しました。これまでの活動支援業務とは異なり、事業そのものに携わる中で、避難民キャンプや現地医療施設の調査などにも関与することができ、個人としても非常に学ぶことの多い派遣となりました。

3  
検査部 臨床検査技師兼 国際医療救援部  
喜田 たろう



▲避難民キャンプを訪問し、医療ニーズを調査する喜田検査技師  
写真提供 ©IFRC

# 医師不足でも患者さまに対応できるように 診療、研究、教育と医療のレベルアップを図りたい。

糖尿病・内分泌内科部長 **武呂 誠司**



**そのままだ  
しておく  
合併症リスクが  
数倍に。  
糖尿病は早期発見、  
早期治療が大切。**

穏やかな口調で話される姿は「医師」「そして「研究者」という印象。武呂医師の経歴を伺

うと、約7年間ほど医学研究・臨床研究に携わつておられたそう。平成22年4月、糖尿病・内分泌内科の部長に就任され、主に糖尿病、ホルモンの内分泌系の疾患の診療にあたる武呂医師は、中学・高校生の頃より「体を統御する部分に興味があった」という。「高校生の時に『脳の話』という本に出会ってから、神経に関わる仕事をしたいと、医学方面への進路を決めました。大学で内分泌系の講座に出たことが、今につながるきっかけだと思います。」

大阪赤十字病院に赴任以降、千人以上の患者さまと接している多忙な日々。「外来診療、病棟診療、検査と一日に70人ほどの患者さまを診察します。患者さまの疾患は糖尿病、バセドウ病、高脂血症などさまざまですが、全国で890万人という糖尿病の患者さまがおり、最近では若い患者さまも増えてきています。」

糖尿病は症状が表れにくいため、心筋梗塞や脳卒中、腎不全などの合併症が表れることで、はじめて糖尿病だと気付くケースもある疾患。「糖尿病は早期治療が大事で、血糖値のコントロールができれば自分自身で『治す(コントロールする)』ことができる病気なのですが、患者さま自身で『コントロールする』意志が弱まってしまったり、血糖値が上がりやすい体質



家族の一員である愛犬アミちゃん。休日と一緒に散歩や食事に出かけます。

に「治らない」とあきらめて、通院をやめられる患者さまもいます。」

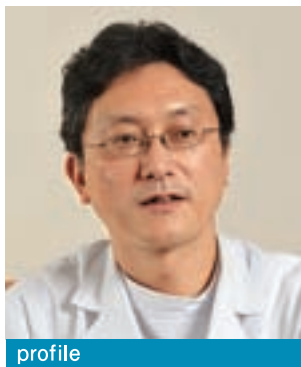
初診で来られる患者さま、症状が悪くなつて再来院される患者さまと、慢性疾患を抱える患者さまの数に対して医師の数が圧倒的に不足しているという武呂医師。そんな患者さまに適切な治療を提供するためにも、総合病院と地域の病院とが連携して、患者さまのサポートを目指した取り組みも行っている。

**休日は読書、合唱、愛犬との散歩。  
ゆっくり睡眠をとって好きなことを。**

休日はゆっくり睡眠をとり、愛犬との散歩に出かけ、以前はランニングもされていたという武呂医師。それだけでなく、話を伺うといういろいろな趣味を持たれている。「今は足を痛めてランニングはやめていますが、そろそろ走りたいですね。本は時間があればどこでも読むことができますので、今、歴史の本を読んでいます。学生時代に合唱部の経験もあって、日赤の合唱団の活動もしていますよ。」

「これからの目標は診療、研究、そして教育と3つあります」という武呂医師。部のチームワークを活かした診療と地域連携を定着させること。診療内容を確認しながら、治療効果を研究すること。これらを担う医師を育てていくこと。

まだまだ若い武呂医師が描くこの先の医療の形は、医師・看護師だけでなく、地域や多くの医療従事者を取り囲みながら広がっている。



profile

SEIJI MURO

3月14日、大阪府生まれ。京都大学医学部卒業。神戸市立中央市民病院内科研修医となり、京都大学大学院医学研究科に入学。国立病院機構京都医療センター臨床研究部に在籍した後、大阪赤十字病院内科に赴任。平成22年4月、糖尿病・内分泌内科部長に就任し、院内診療に従事する一方で、地域医療の連携構築にも力を注いでいる。

35

看護師レポート



**村木 千恵**

CHIE MURAKI

12月3日、岡山県生まれ。大阪赤十字看護専門学校卒業後、大阪赤十字病院に就職。大阪赤十字看護専門学校専任教師を務めた後、当院看護部係長、師長として看護・指導にあたる。平成17年より看護部副部長に就任し、専任リスクマネージャー(医療安全管理者)を務めている。

「ヒヤリ、ハツとする」危険から  
患者さまも医療者も守れるように

患者さまが医療を安全に受けられるように、医師・看護師が安全に医療を行えるように、医療安全管理者として病院内を回り、チェックしています。自らが直接患者さまを看護するのではなく、医療安全管理は安全に医療を行えるように病院スタッフが行動できる環境を整えることが大切です。また、立場上さまざまな方と接する中で、コミュニケーションの大切さを実感しています。

私が看護師になったのは、「資格を身につけて自立を」という母の希望がありました。それなら幼稚園の先生かなと、すぐに「看護師」にたどり着きませんでした。しかし、中学生の頃に同級生が交通事故で入院し、お見舞いに行った時に看護師さんに初めて出会い、そのときの友人への看護や私への対応に触れて、人の生死に接する看護師の仕事は「普通ではできない仕事」であり、やりがいがあると感じて、看護師を目指すようになりました。

看護師になってからは、病棟看護の経験だけでなく、ベトナム戦争後にカンボジア難民救援事業に参加する機会がありました。そこでは同じ救護所に敵も味方も収容されていて、苦しむ人々たちを区別なく救う赤十字の精神を目の当たりにしました。日本帰国後はアメリカの看護に興味を持ち、渡米して最先端の看護医療を体験したことから影響を与えられ、看護観が変わったと思います。



還暦のお祝いに同級生と行ったハワイ旅行の一枚。退職後もいろんな場所へ旅行に行きたいぞ。

プライベートでは還暦を迎えたお祝いに友人たちとハワイに旅行に行きました。旅行も好きですし、休日には極上のサーブも受けてみたいですね。ホテルの食事や宿泊のサーブは、どこか仕事にも通じる場所があると思います。

病院は治療を行うところですが、どんな治療をしていくか、患者さまにも治療内容を理解していただくことが「安全安心」につながり、医療者を守ることもつながると感じます。患者さまにとっても医療者にとっても、安全第一の病院でありつづけていきたいですね。

## 高コレステロール血症治療薬

薬剤部 薬剤師 木崎 早矢香

### ミニ知識



『善玉・悪玉コレステロール』。最近テレビなどでよく耳にする言葉ですが、今回はこれらの正体とその働きについてのお話です。

#### ●そもそもコレステロールとは何か？

コレステロールとは人間の体内にある脂肪の一種で、本来は体の中の細胞やホルモンを作る大切な成分です。人間にとって必要不可欠なものなので、その値を適正に保つことが重要です。

#### ●コレステロール値が高いとどうしていけないのでしょうか？

その値が高くなると起こるのが**動脈硬化**です。現在日本では国民の5人に1人(2,000万人以上)は高コレステロール血症の疑いがあるとも言われ、自覚症状がないのが特徴です。動脈硬化とは、動脈の血管の弾力が失われて硬くなる症状で**心筋梗塞**や**狭心症**、**脳梗塞**などの原因となります。

#### ●善玉(HDL)コレステロールと悪玉(LDL)コレステロール

動脈硬化に大きく関与しているのが**善玉コレステロール**と**悪玉コレステロール**です。**善玉コレステロール**は、全身を巡る血液中の余ったコレステロールを回収し肝臓に運ぶ役割を、逆に**悪玉コレステロール**は肝臓から全身にコレステロールを運ぶ役割を持つ成分です。一般に動脈硬化の場合、**悪玉コレステロール**値が高く、**善玉コレステロール**値が低いことが多いので、食事療法や運動療法によりこのバランスを是正することを目指します。それでも改善が見られない場合に薬物療法が選択されます。



#### ●コレステロールを下げる薬

コレステロールを下げる薬にはいくつか種類があり、中でも「スタチン系」はコレステロールの生合成を抑え、**悪玉コレステロール**値を下げる薬としてよく用いられます。副作用の発現頻度は少ないと言われていますが、有名なものとして横紋筋融解症があります。筋肉痛や脱力感などの症状として現れるため、注意が必要です。

薬による内服治療で一度コレステロール値が改善しても、食事や生活習慣が乱れると再びコレステロール値が上がる場合があります。自覚症状がない分、薬の必要性を感じにくいかもしれませんが、生活習慣の見直しを心がけ内服薬の服用は中断しないようにしましょう。

## 動いてリフレッシュ

栄養管理課 管理栄養士 谷口 留美



寒い冬の季節になりましたね。運動するには少々つらい時期です。寒いから外出を控えたり、こたつに入ったり、暖かい場所から動きたくなくなりますよね。また、年末年始に食べ過ぎることも多いので、体重アップしてしまう方も多いのではないのでしょうか。

無理をする必要はないと思いますが、ぽかぽか暖かい日は散歩したり、室内でできる運動を取り入れるなど、体を動かして運動不足を解消しましょう。

今回は、脂肪燃焼に効果のある栄養素としてあげられる「カルニチン」についてチェックしてみたいと思います。

私たちの体は、脂肪や糖質を細胞内のミトコンドリアで燃焼させてエネルギーを作り出しています。そのミトコンドリア内部まで脂肪を運ぶ役割を果たしているのがカルニチンです。

私たちの体内でも合成されていますが、1日に20mg程度しか作られていません。しかも20代をピークに加齢に伴って減少していきます。1日に必要な量は200mgくらいなので、食事で補うことになります。特にカルニチンを多く含む食品として、肉類があげられます。

#### ■カルニチンを多く含む食品100gあたり(mg)

|         |       |    |         |
|---------|-------|----|---------|
| 羊肉(マトン) | 208.9 | 豚肉 | 35.0    |
| 仔羊(ラム)  | 80.0  | 鶏肉 | 4.6~9.1 |
| 牛肉      | 59.8  |    |         |

しかし、肉類だけでカルニチンを摂取しようとする大量に食べる必要があり、エネルギーの摂りすぎにつながるため、サプリメントを利用してもよいと思います。

ただ、これらの栄養素は摂取しただけでは効果がありません。適度な運動を組み合わせることによって脂肪燃焼へとつながっていきます。無理のない程度に日常生活の中で、ちょっとした時間を見つけて動いてリフレッシュしましょう。

## がんサポートチームからのお知らせ⑨ 「がんサポートチームの具体的な活動について」

がん看護専門看護師 平野 照子

### それぞれのケースに合わせた連携・協働

前号ではがんサポートチーム(以下チーム)の活動内容についてご紹介をさせていただきました。今号では、チームが実際どのような活動を行っているか具体的にケースを取り上げてみたいと思います。

#### ケース1 外来通院中に、痛みが持続していたAさんの場合

Aさんは1か月に1回来通院をしていました。数週間前から、右脇腹の辺りに鈍い痛みと、体動時に背中差し込むような激しい痛みを感じていました。外来受診時にAさんは主治医に症状を伝え、非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)と医療用麻薬が処方されました。お薬の開始3日後には右脇腹の鈍い痛みは消失しましたが、背中差し込む痛みは持続し、動くことが困難になり、Aさんはほとんど寝て過ごすようになりました。主治医と外来看護師はAさんの疼痛緩和の方法について話し合い、難渋する複雑な痛みのため専門家の意見が必要であると判断し、主治医からチームメンバーでもある緩和ケア外来担当医に受診依頼がありました。Aさんは緩和ケア外来を受診された際、激しい痛みのため車椅子で来られました。痛みの部位や性質、持続時間などの問診や触診、画像診断などを行い、鎮痛補助薬\*の追加や医療用麻薬の変更などを行いました。約3週間後、Aさんは背中差し込む痛みが緩和し、日常生活を送ることができるようになりました。

痛みが落ち着いた後は主治医の外来診察を基本とし、いつでも緩和ケア外来を受診できるように体制を整えていきました。その後、Aさんが入院した際も、主治医が中心となりチームと連携・協働しながら症状緩和を行っていただくことができました。

\*鎮痛補助薬:医療用麻薬に抵抗性のある特殊な痛みに対して用いられる薬剤

#### ケース2 さまざまな原因により吐き気が持続していたBさんの場合

抗がん剤治療のため入院中のBさんは、抗がん剤投与後2日目から強い吐き気に悩まされており、チームに相談がありました。チームと主治医・病棟看護師で検討し、Bさんの吐き気の原因は抗がん剤の副作用と、腸閉塞による吐き気と考えました。そこで、抗がん剤の副作用対策として薬剤の投与方法と排便コントロール方法、腸閉塞時の観察について提案していきました。

その後、Bさんは適切な薬剤の投与により吐き気が緩和し、食事を楽しむこともできるようになり、抗がん剤治療も継続することができました。

これらの活動は、ほんの一例にすぎません。チームは痛みだけに限らず、がんやがん治療に伴うつらい症状の緩和を図ることを目的に活動しています。そのため外来・病棟のスタッフと連携し、患者さまとご家族がどこでも切れ目なく、よりよい生活が送れるよう支援しています。

当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をがんサポートチームの看護師がお受けしています。

がん看護相談室 TEL:06-6774-5192

FAX:06-6774-5126

syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

●毎週火、金曜午後2時~4時(予約制) ●本館2階・8番窓口(随時)

## 悪性リンパ腫 —リンパ節のがん でも、ずっとよく治るようになっていきます—

平成22年10月30日(土)午後1時30分から3時までの予定で、当院4階講堂において市民公開講座が開催されました。がん診療連携拠点病院の普及啓発活動の一環として、毎年1回行われるもので、今回が7回目の開催となります。今回のテーマは「悪性リンパ腫 —リンパ節のがん でも、ずっとよく治るようになっていきます—」と題して、当院血液内科部 通堂部長が講演しました。

開催前日に台風14号が接近しており、無事開催できるのか心配しましたが、当日は過去最高となる140名もの地域住民の方々などの参加をいただきました。

講演内容は、以下の通りになります。

- |                  |  |
|------------------|--|
| ①リンパ節、リンパ球とは     | ⑥国際予後指標 International Prognostic Index (IPI) |
| ②悪性リンパ腫の症状と経過    | ⑦悪性リンパ腫の治療                                   |
| ③悪性リンパ腫の種類       | ⑧副作用と治療中に気をつけること                             |
| ④病期              | ⑨難治もしくは再発した場合                                |
| ⑤治療開始までに必要な検査と情報 | ⑩新しい療法                                       |



▲参加者でいっぱいとなった公開講座会場

講演会をまとめた小冊子▼



▲講演する通堂部長

当院は悪性リンパ腫の治療に関して先駆的な役割を果たしております。今回はCHOP療法(三種の抗がん剤に副腎皮質ホルモンを組み合わせた代表的な治療法)や、毛が抜けたり白血球が減ったりする副作用がほとんどない「リツキシマブ」という、治療に大きな進歩をもたらした抗がん剤における治療方法・放射線療法などを説明しながら、講演後の質疑応答を含めて、約2時間にもおよぶ講演となりました。長時間講演にもかかわらず参加された方々は熱心に聞き入っておられ、質問が後を絶えませんでした。なお、今回の講演会は小冊子にまとめております。ご希望の方は、医療・福祉相談支援センター(2階8番窓口)まで声をかけてください。

### ●悪性リンパ腫とは●

悪性リンパ腫は白血球の一種であるリンパ球ががん化した悪性腫瘍です。胃がん、大腸がん、肺がんなどに比べるとずっと少ないのですが、50歳以上の方に多く発生し、人口の高齢化とともに増加傾向にあります。

リンパ球はリンパ節やリンパ組織で作られます。リンパ節は首、あご、脇の下、足の付根、肺門部やおなかの大動脈の周囲などにも多数存在し、米粒から大豆の大きさです。リンパ組織は全身に存在し、主にはのどの扁桃、肺、胃や腸の粘膜下に存在します。

悪性リンパ腫はこれらのどこからでも発生する可能性があります。悪性リンパ腫は、免疫を担う細胞から出るがんであり、体を守るべき組織が悪性化して広がるため、他のがんに比べて体の免疫力が大きく低下します。しかし、抗がん剤や放射線がよく効きますので、最近の治療法の進歩によりある一定の割合で完治させることが可能になっています。



▲模擬被災地(看護学校グラウンド)

## 院内災害訓練

国際医療救援部長 中出 雅治

今年度も昨年度と同様10月1日に院内災害訓練を行いました。この日は午後1時1分に上町断層直下型地震が発生したという想定で、午後の病院業務をすべて休止し、全部署の職員が参加しての災害訓練でした。

この訓練は災害拠点病院として、実際に大阪市で大震災が起こった場合に、本当に被災者を助けられる体制をつくることを目的として、平成17年から行っています。実際の被災状況となるべく似た状態で行うことを目指しているため、病院業務をストップさせるだけでなく、創傷メイクをした200名以上の模擬被災者が院内に倒れていて、その被災者を大阪府消防局、大阪府警察の隊員が救出、病院へ搬送し治療を行います。この際、どこにどんな被災者が何人いるかという情報は、病院職員はもちろん、救出する消防、警察の隊員にも知らされていません。このような本格的な訓練は消防隊員らにとっても、他では経験できないため当日は100名を超える消防、警察の隊員が参加し、真剣勝負での救出が行われました。

病院側は、災害時非常態勢をとり、救命救急センターが重傷の患者さまを受け入れる「赤エリア」、普段患者さまが入ってこられる1階ロビー全体が中等度の傷病者を受け入れる「黄エリア」、そして正面玄関向かって左側の駐車場をすぐに入院治療の必要のない軽傷の方を受け入れる「緑エリア」としました。どの被災者をどのエリアに運ぶかという選択は、正面玄関前を「トリアージエリア」とし、ここで振り分けるという動線になりました。また、当日入院しておられた患者さまは、事前に了承を得た上で、安否確認などに「ご協力いただきました。救出され、病院に運ばれた模擬被災者は、本番と同様に検査を受け、処置をされ、入院が必要であれば入院し、手術が必要であれば手術室に運ばれます。

昨年度までの第一次5カ年計画が終了し、今年度から第二次5カ年計画が始まりました。コンセプトは「地域全体で防災」です。今、本当に上町断層直下型地震が起こったというシミュレーションを行ってみると、消防や病院は、普段の10倍の能力がいると推定されています。

つまり消防や病院が単体でいくらがんばっても難しく、市民の皆様ひとりひとりが、「まず自分たち、家族、近所の人と助け合わなければ災害には太刀打ちできない」という共通の認識を持つことで、対応能力に大きな違いが出てきます。当院では、これらの啓蒙活動の一環として、昨年から災害訓練とは別に、夏休みに、一般市民の方々を対象とした「親子の防災体験セミナー」という体験型イベントを始めました。防災についての講義や、家庭でできる応急処置の学習、地震体験車、救護所、テント避難所体験、創傷特殊メイクアップの体験、非常食の試食など、盛りだくさんの内容のイベントです。今年も8月27日(土)に開催予定ですので、皆様奮ってご参加ください。

最後に、訓練当日の病院業務停止など、患者さまにはご迷惑をおかけしておりますが、以上の趣旨をご理解いただき、今後ともご協力をお願い申し上げます。



▲1階ロビー黄エリア

## ● 高円宮妃殿下当院をご視察

去る11月15日、高円宮妃殿下がご来院され、病院と大手前整肢学園をご視察されました。

妃殿下は午後3時頃到着され、正面玄関にて院長以下病院幹部が、次いで本館1階玄関ホールでは病院職員と自然発生的に集まった患者さまなど一般来院者の総勢100名ほどで出迎えました。



本院1階ロビーにて。高円宮妃殿下と隠岐院長。

本館4階講堂で院長・園長からの施設概要説明をお聞きになり、その後10階A病棟のご視察をされました。4人部屋やデイルームをお訪ねになり、お声をかけられたり、握手をされるなど患者さまを励まされました。その後、整肢学園ではプレイルームに集まった園児たち一人ひとりと交流されました。最後に、正面玄関で病院ボランティア会のスタッフや患者さまなどとお話しをされ、約1時間のご視察を終えられました。

職員や患者さまにも気さくに声をかけられ、病院と患者さまにとって有意義な時間をいただきました。

## ● 市民健康講座が開催されました(平成22年11月27日)



「あなたはAEDを使えますか?」をテーマにした講演と実技による健康講座です。当院救急部山本部長の講演では、AEDの有効性についてのお話がありました。実際に院内コンビニにて救急処置が行われた際のAED活用事例の映像を、受講者は身を乗り出して見ておられました。また、赤十字救急法指導員による心肺蘇生法の実技指導では、当初、緊張

気味の受講者の方も真剣に取り組まれていました。実技指導を受けることができるのは事前申し込みの方のみでしたが、事前申し込み以外の方も熱心に実技指導を見学され、医療従事者でない一般の方々の関心の高さがうかがえました。「素人が使用しても大丈夫だろうか?」「どのように役立つのだろうか?」と疑問を抱いておられた方々にとって、今回の講座を通じて、AEDが身近になり、より理解が深まったのではないかと思います。

## ● クリスマスコンサート

平成22年12月11日(土)本院2階にてクリスマスコンサートを開催しました。当日は開演前のリハーサル時点から美しい音色に惹かれて大勢の人が会場に集まっています。コンサートは放射線診断科部小山副部長と臨床研修医の本田医師によるピアノ連弾からはじまり、小山副部長と呼吸器科部長野医師によるピアノとヴァイオリンの合奏、そしてゲストである安藤裕子さんによるソプラノとピアノ・ヴァイオリンとの共演など、クリスマスにふさわしい、楚々としてときに力強い演奏が当院に清らかな時間を運んでくれました。



患者さまからは「感激した」「病気と闘う力をもらった」「先生方の腕はプロ級ですね」といった感想をいただき、大変好評のうちにコンサートを終えることができました。

## ● 海外たすけあい

日本赤十字社はNHKと共催で「海外たすけあい」義援金を募集し、当院でも12月1日～24日に院内各所へ募金箱を設置し、8日には病院出入口で街頭募金も行い、皆様から総額112,810円ものご寄附をいただきました。これらの義援金は世界各地の自然災害や紛争等による被害者への緊急救援・復興支援、開発途上国の開発協力などにあてられます。ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。年が明けると、寒さが一層厳しい季節となりますね。さて、今年は卯年。「卯」の字が本来表している意味は「草木が地面をおおようになった状態」だそうです。草一本生えない荒野のような私でしたが、本年は草木がおおい茂るアマゾンのごとく豊かな社会人となるよう努力する所存です。(M.H)

## 介護保険について

医療社会事業課 野村 美奈子

年齢を重ねることで日常生活動作に不便を感じたり、思わぬ病気やけがで介護が必要になるといったことがあると思います。そのようなときに利用できるのが介護保険制度です。40歳になったら介護保険の保険料は支払っているから、利用できるのでは? 高齢者であればいつでもすぐ利用できるのでは? と思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、実際に介護保険のサービスを利用するには手続きが必要であったり、年齢によっては一定の条件が必要であったりします。

### 介護サービスを利用できる人は?

65歳以上の方であれば、日常生活になんらかの介護や支援が必要な方なら、どなたでも利用できます。40歳から64歳までの方は、老化が原因とされる16種類の病気により、介護が必要になった方が利用できます。

### ● 16種類の病気

- ①がん(ターミナル期) ②関節リウマチ ③筋萎縮性側索硬化症(ALS)
- ④後縦靭帯骨化症 ⑤骨折を伴う骨粗鬆症 ⑥初老期における認知症
- ⑦進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症およびパーキンソン病
- ⑧脊髄小脳変性症 ⑨脊柱管狭窄症 ⑩早老症 ⑪多系統萎縮症
- ⑫糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症
- ⑬脳血管疾患 ⑭閉塞性動脈硬化症 ⑮慢性閉塞性肺疾患(COPD)
- ⑯両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

### 介護が必要になったら?

「要介護・要支援認定」の申請をすることが必要です。

### ● 申請先

大阪市在住の方は区役所の保健福祉センター、東大阪の方はお住まいを管轄する福祉事務所、その他の市にお住まいの方は市役所の介護保険担当の窓口です。

お近くの介護支援事業所、地域包括支援センターなどに依頼して申請を代行してもらうこともできます。介護保険証、健康保険証をお持ちください。

### 要介護・要支援認定の結果は?

調査員による認定調査、病院からの主治医意見書提出により、審査会を経て要介護・要支援認定が行われます。区分は自立から、要支援1・2、要介護1から5までで、それぞれの認定結果によって利用限度額が定められています。認定されるまでに申請から約1カ月かかります。

### 介護サービスを利用するには?

要支援の方は地域包括支援センター、要介護の方は介護支援事業所のケアマネジャーに相談し、必要なサービスを利用するためのケアプランを作成してもらいます。

ケアプランにもとづいて費用の1割を負担し、サービスを利用します。

### 利用できるサービスは?

自宅で利用できるサービスとして、ホームヘルパーによる身体介護(入浴、トイレ、食事の介助や通院の付き添いなど)・生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)、訪問看護や訪問リハビリ、訪問入浴などがあります。

通いで利用できるサービスとしては、デイサービス、デイケアなどがあります。福祉用具レンタル(車いすや介護用ベッド、歩行器など)や福祉用具購入(ポータブルトイレやお風呂用の手すりやいすなど)、住宅改修(手すりの設置や段差の解消など)、短期間施設に入所するショートステイも利用できます。

介護保険の入所施設は介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設があり、申し込みは各施設で直接行うことになっています。

自分だけ、家族だけで介護を抱え込まず、早めに相談していただくことが安心して生活を続けていくためにも、大切なことではないでしょうか。サービスの内容によっては利用の条件が定められているものもありますので、詳しくは病院2階8番、医療・福祉相談支援センターでおたずねください。

相談窓口 本館2階8番窓口 医療・福祉相談支援センター

# 外来診療担当表

平成23年1月1日現在


午前診療 午後診療

| 科目         | 曜日 | 月                      | 火               | 水               | 木            | 金             | 備考                                   |
|------------|----|------------------------|-----------------|-----------------|--------------|---------------|--------------------------------------|
| 消化器科       |    | 津村                     | 中島              | 邊見              | 木村           | 齋藤            |                                      |
|            |    | 松田                     | 金坂              | 圓尾              | 喜多           | 波多野           |                                      |
|            |    | 関川                     | 岡部              | 大崎              | 石川           | 圓尾            |                                      |
|            |    | 犬塚                     |                 | 坂本              | 竹田           |               |                                      |
|            |    | 津村                     | 中島              | 邊見              | 金            | 齋藤            | 全て予約制                                |
|            |    | 松田                     | 金坂              | 越川              | 赤穂           | 波多野           |                                      |
| 消化器科(肝臓外来) |    | 喜多                     | 大崎              | 木村              | 恵荘           | 西川            | 午後は予約制                               |
| 糖尿病・内分泌内科  |    | 南部                     | 武呂              | 米光              | 武呂           | 政次            | 午後は予約制                               |
|            |    | 米光                     | 金井              | 政次              | 隱岐(予約)       | 武呂南部          |                                      |
| 血液内科       |    | 松井                     | 渡邊              | 杉野              | 金子           | 平田            |                                      |
|            |    | 金子                     | 平田              | 通堂              | 渡邊           | 通堂            |                                      |
|            |    | 通堂                     | 渡邊              | 中村              | 金子           | 平田・杉野         | 全て予約制                                |
|            |    | 豊岡                     | 平田              | 通堂              | 渡邊           | 通堂            |                                      |
| リウマチ・膠原病内科 |    | 井村                     | 井村(予約)          | 井村(予約)          | 松尾           | 伊藤            |                                      |
|            |    | 井村                     | 井村              | 井村              |              |               | 全て予約制                                |
| 腎臓内科       |    | 南方                     | 小川              | 渡瀬              | 森上           | 宮本            |                                      |
|            |    | 宮本                     | 渡瀬              | 南方              | 宮本           | 菅原            | 全て予約制                                |
|            |    | 南方                     | 小川              | 渡瀬              | 森上           | 宮本            |                                      |
| 循環器科       |    | 担当医                    | 田中              | 伊藤              | 長央           | 福地            |                                      |
|            |    | 林                      |                 | 稲田              |              | 田中            | 全て予約制                                |
|            |    | (第1・3・5週長夫<br>第2・4週善地) | 伊藤              | 林               | 牧田           | 稲田            |                                      |
| 不整脈科       |    | 牧田                     | 牧田              |                 | 内山           |               | 全て予約制                                |
|            |    | (ペースメーカーICD<br>内山)     | 牧田              |                 | 内山           |               |                                      |
| 心臓血管外科     |    |                        | 中山(予約)          | 中山(初診)          |              | 中山(初診)        | 全て予約制                                |
|            |    |                        | 坂本              | 仲原              |              | 坂本            |                                      |
| 小児科        |    | 山本                     | (アレルギー外来<br>住本) | (アレルギー外来<br>田中) | (腎臓外来<br>住本) | 金岡            |                                      |
|            |    | (神経外来<br>奥野)           | 竹川              | 葭井              | 越智           | (血液外来<br>朴)   | 全て予約制                                |
|            |    | (血液外来<br>田中)           | 田中司             | 肥田              | 小林           | 野村            |                                      |
| 小児外科       |    | 松川                     |                 | 松川              |              |               |                                      |
| 外乳腺外科      |    | 矢内                     | 片岡              | 石川              | 河野           | 中島研           | 注)緩和ケア外来の診療は<br>2Fのがん看護相談室とな<br>ります。 |
|            |    | 花房                     | 井ノ本             | 中島康             | 有本           | 吉利            |                                      |
|            |    | 端                      | 有本              | 小松              | 河口           | 金澤(初診)        | 川田                                   |
|            |    | 露木                     | (乳腺新患予約<br>露木)  | 奥村              | (乳腺新患<br>露木) |               |                                      |
| 整形外科       |    | 矢内                     |                 | 石川              |              | 中島研           | 全て予約制                                |
|            |    | 花房                     | 井ノ本             | 中島康             | 有本           | 河口            |                                      |
|            |    | 露木                     | (再診・予約<br>金澤)   | 川口              | 小松           | (再診・予約<br>金澤) | 金澤                                   |
| リハビリテーション科 |    | 好井                     | 好井              | 好井              | 好井           | 富原            |                                      |
|            |    | 好井                     | 好井              | 好井              | 好井           | 富原            |                                      |

| 科目    | 曜日 | 月                | 火      | 水                      | 木                    | 金            | 備考   |
|-------|----|------------------|--------|------------------------|----------------------|--------------|--|
| 脳神経外科 |    | 担当医              | 山下     | 担当医                    | 山下                   | 谷            | 予約・紹介のみ  |
|       |    | 担当医              | 川端     | 担当医                    | 新田                   | 米田           |  |
|       |    | 担当医              | 担当医    | 担当医                    | 担当医                  | 担当医          |  |
| 神経内科  |    | 金田               | 高橋     | 中村                     | 鈴木                   | 加藤           | 全て初診のみ   |
|       |    | 鈴木               | 加藤     | 金田                     | 加藤                   | 鈴木           | 全て再診のみ   |
| 呼吸器科  |    | (喘息外来を兼ねる<br>吉村) |        |                        |                      |              | 午後は予約制   |
|       |    | 網谷               | 西坂     | 中村                     | 中村                   | 若山           |  |
| 呼吸器外科 |    | 花岡               | 中川     | 若山                     | 時岡                   | 中川           | 午後は予約制   |
|       |    | 時岡               | 長野     | (第1・3・5週長夫<br>第2・4週花岡) | 網谷(予約)               | 中川           |  |
| 産婦人科  |    | 松本               | 松本     | 長野                     | 吉岡                   | 三瀬           | 午後は再診のみ<br>※月～金曜日<br>助産師外来あり                                     |
|       |    | 川島               | 橋本     | (午前:砂田<br>午後:矢野)       | 西川                   | 長野           |  |
| 泌尿器科  |    | 西村               | 岩村     | 仲島                     | 西村                   | 岩村           | 全て予約制  |
|       |    | 堤                | 岡村     | 担当医                    | 仲島                   | 岡村           |  |
| 眼科    |    | 石郷岡              | 石郷岡    | 廣井                     | 担当医                  | 田口           | 予約制<br>※午後の専門外来は再診<br>のみ・初診は、各専門外来<br>日の午前中に、専門医の<br>診察をお受けください。 |
|       |    | 正井               | 担当医    | 藤原                     | 担当医                  | 石井           |  |
|       |    | 田口・石井            | 田口     | 石井                     | 正井                   | (午前のみ<br>岡本) |  |
| 耳鼻咽喉科 |    | 小山               | 平塚     | 小山                     |                      | 山原           | 全て予約制  |
|       |    | 田中               | 小山     | 山原                     |                      | 和田           |  |
| 皮膚科   |    | 樋上               | 堀口     | 堀口                     | 湊                    | 堀口           | 全て予約制  |
|       |    | 大西               | 樋上     | 大西                     | (馬淵<br>大西・樋上)        | 大西           |  |
|       |    |                  | 堀口(予約) | 下股静脈瘤<br>外来            | (タミカビル・リンパ<br>高瀬・太田) | 下股静脈瘤<br>外来  |  |
| 形成外科  |    | 重吉               | 岩井     | 重吉                     | 内藤                   | 内藤           |  |
| 精神神経科 |    | 吉田               | 早川     | 吉田                     | 早川                   | 吉田           |  |
|       |    | 伊達               | 杉田     | 杉田                     | 伊達                   | 早川           |  |
| 放射線科  |    | 古田               | 塩崎     | 前倉                     | 小山                   | 岡田           | 診断<br>治療<br>検査(透視)<br>検査(CT)<br>検査(MRI)<br>検査(RI)<br>検査(血管造影)    |
|       |    | 石垣・永田            | 石垣・永田  | 石垣・永田                  | 石垣・永田                | 石垣・永田        |  |
|       |    | 古田               | (外科)   | 山内                     | (外科)                 | 塩崎           |  |
|       |    | 岡田・小嶋            | 藤堂・小山  | 小山・岡田                  | 小嶋・塩崎                | 前倉・小山        |  |
|       |    | 小山               | 前倉     | 塩崎                     | 岡田                   | 古田           |  |
|       |    | 塩崎               | 前倉     | (循環器科)                 | 前倉                   | 藤堂           |  |
| 歯口腔外科 |    | 山田               | 杉立     | 森下                     | 担当医                  | 担当医          | 全て初診(紹介)のみ<br>全て再診(予約制)  |
|       |    | 杉立               | 森下     | 杉立                     | 手術                   | 杉立           |  |
|       |    | 森下               | 山田     | 山田                     |                      | 山田           |  |

■平成22年12月1日より  
当院は敷地内全面禁煙です

当院は平成22年12月1日  
より、敷地内全面禁煙を  
実施します。ご理解とご協力  
をお願いします。



異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内  
をご覧ください。各科外来にお問い合わせください。

●お問い合わせ  
TEL 06-6774-5111 (代表)  
(大阪赤十字病院) <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>  
(赤十字全般) <http://www.jrc.or.jp/>

■受付時間(月～金)(診療開始は午前8:45からです)  
●初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 ●再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45

■休日 ●土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日

■診察券 ●診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。

■ご面会(病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください)  
●平日/14:00～19:00 休日/10:00～12:00、14:00～19:00 ●小児病棟(平日・休日とも)/14:00～19:00

■保険証等 ●保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

